

令和5年度 学校評価

加古川市立尾上小学校

1. 学校教育目標

進んで学び、たくましく生きる、心豊かな尾上っ子の育成  
 ～子どもたちの未来を見据えた、自立して生きる力につながる教育実践～  
 ○考え努力する子      ○心豊かな子      ○たくましい子

2. 重点目標

○心とからだにやさしい人になろう      ○学びをどんどん使ってみよう

3. 自己評価結果 【A. 達成している B. 概ね達成している C. あまり達成していない D. 達成していない】

評価の観点	評価項目(取組内容)	評価	○取組状況・◇改善の方策
考え努力する子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学ぶ意欲を高め、確かな学力を身につける取組の充実</li> <li>・主体的に学ぶ力を培う取組の充実</li> <li>・体験学習の充実</li> <li>・外国語活動の推進</li> <li>・教職員の実践的指導力の向上</li> </ul>	B	<p>○協同的探究学習に加え、ICT機器の積極的な活用を目標に授業研究に取り組んだ。ICT機器の活用機会が増え、個に応じた学習や児童自ら主体的に学ぶ姿が増え、協同的探究学習も定着しつつある。</p> <p>○今年度もタブレット端末を全ての教科で活用し、「できる力」の定着や、グループ活動などにおいて効果があった。漢字学習ではその場で採点ができるため、平均点も向上した。現在、漢字ドリルや計算ドリルの活用方法について、メリットデメリットを議論している。</p> <p>○今年度は、「オンライン授業」の必要性はなかったが、いざという時のために帰宅後の児童とオンラインでつながる準備を進めている。教師のICT機器の活用力はどんどん向上している。</p> <p>◇「学習のきまり」の継続した指導を行い、学習に向かう姿勢を身につける必要がある。</p>
心豊かな子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いのちを大切に教育の推進</li> <li>・自己有用感を高める活動の推進</li> <li>・特別支援教育の充実</li> <li>・道徳科の充実</li> <li>・人権教育の推進</li> <li>・豊かな心を育む読書活動の推進</li> </ul>	B	<p>○各学年ごとに自殺予防に関する授業、ネットトラブル防止教室などを実施し、命を大切に教育を推進した。</p> <p>○いじめ対策推進委員会・特別支援教育推進委員会を定期的実施し、情報を共有して課題解決に取り組んだ。</p> <p>○児童会では、心の絆プロジェクトなどの活動を通じて友だちの良いところを見つける機会を設けた。</p> <p>◇普段の学校生活の中で、子どもたちの心豊かな心の育成に努めていく必要性を感じている。</p>
たくましい子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康教育の推進</li> <li>・規則正しい生活リズムの確立を図る取組の充実</li> <li>・自らの安全は自分で守る指導の充実</li> </ul>	A	<p>○全員が楽しく参加できるように、ルールや用具を工夫し運動に取り組んだ。</p> <p>○「スポーツフェスティバル」では1学期から体育の授業で行ってきた取り組みを学年ごとに発表し、目標に向かって意欲的に運動に取り組むことができた。</p> <p>○手洗いうがいなど健康に生活するための指導を全体及び個別に対して日常的に行っている。また、抗菌・抗ウイルススプレーを定期的に教室等に散布し、感染症予防に努めた。</p> <p>◇腕を使って体を支える力、バランスをとる能力が低い傾向が見られるので、授業の中で継続した取り組みが必要である。</p>
安全・安心な学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生活のきまり」の徹底と保護者との連携</li> <li>・ネットトラブル防止に繋がる指導の強化</li> <li>・危機管理意識の向上と対応訓練の実施</li> </ul>	B	<p>○「生活目標」を設定し、生活安全委員会の児童が各クラスを回って伝えたり、朝の会・終わりの会でめあての確認と振り返りをしたりして規範意識を高めている。</p> <p>○生活指導部会を毎月実施し、「日々の様子」に書かれている情報を中心に共有して課題解決に取り組んだ。「日々の様子」への記入も増えている。</p> <p>○生活のきまりを見直し、実態に合わせたものにしていった。</p> <p>◇「わが家のネットルール」を全家庭で決め、児童一人ひとりに合ったきまりを作ることができている。途中で振り返り、見直す機会をしっかりと確保して、ルールを守れるようにしていきたい。</p> <p>◇インターネットトラブル防止講座を保護者向けにも実施していき、啓蒙していく必要性を感じる。</p>
開かれた学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・学年便りの発行・ホームページの充実</li> <li>・教育相談日の実施</li> <li>・学校支援ボランティアの活用</li> </ul>	B	<p>○学校便り「まつぼっくり」・学年便り・給食便り・保健便りなどを発行し、学校の様子を紹介し連携を深めた。学年便り等は適宜、HPIに更新している。</p> <p>○定期的に教育相談日を設け、保護者との連携に取り組んだ。(1学期は、全保護者との個人懇談、2、3学期は希望者との教育相談)</p> <p>○見守りボランティアの方には、児童の安全を見守る活動をしていただいた。今後も地域の方々とも協力していきたい。</p> <p>○学校運営協議会を年に2回開催している。今後さらに家庭・地域との連携を強めて開かれた学校づくりを推進していきたい。</p>

4. 保護者アンケートからの  
 主なご意見・ご提案

・クロムブックをどんどん活用してほしい。  
 ・クロムブックでの算数や漢字ドリルは画面が見にくそうで、質問を見つ答えを解くことが一つの画面を見てできない様子です。紙に戻してほしいと思うのですが、やはり環境問題の観点からもパソコンでするしかないでしょうか。  
 ・一つの要望としてクロムブックの持ち替わりをなくしてほしい。ランドセルが非常に重くなり、毎日のこととなると肩に負担がかかります。  
 ・スポーツフェスティバルは全学年でしてほしいと思います。地域保護者と一体になる思い出作りを検討いただけたらと思います。リレーや騎馬戦などもっと盛り上げてほしい。  
 ・今年は11月まで夏日があり異常な気候でした。親は学校の方針(ガウンの着脱は気候に合わせて自由である。)通りに服を選定しています。  
 ・楽しそうに学校に行っているので安心しています。  
 その他、学校や各職員の取組に対する温かいお言葉やご意見を多数お寄せいただきました。

5. 学校関係者評価

・地域での子どもたちの様子を見て、苦情ではなく、「子どもたちを見ると元気をもらえます。」と、肯定的に考えてくださる人たちが多く、地域の方々へのあたたかさを感じている。  
 ・困っている地域の方に優しくする児童がいたり、未就学児のお世話を進んでできる児童がいたりするなど、尾上小学校の児童の人懐っこさを今まで以上に感じられるようになってきた。  
 ・児童一人ひとりへのタブレット導入に伴い、算数科や漢字学習、調べ学習で積極的に活用できているので継続してほしいが、書くことの大切さも感じるのでハイブリッドで進めていくべきだと感じる。  
 ・いじめ問題については、日頃から児童の内面理解に努め、教師間で情報を共有し、全職員で問題解決に取り組んでほしい。  
 ・よりよいPTAのあり方を学校と連携しながら考えていきたい。  
 ・今後も学校運営協議会を中心に開かれたより良い学校をつくっていきたい。